

# あすなろ

令和4年10月25日  
中津川市立川上小学校  
学校だより 10月号

## 子どもは遊びの天才

校長 中山 英三

・・・ある日の休み時間の出来事です・・・

### 【あったかい砂】

「校長先生、手出して。」1年生の子がそう話しかけてきました。私が手を出すと、その子は右手に持っていた白い砂をさらさらと私の手に載せていきます。「これ、あったかい砂だよ。」と、私の目をじっと見ながら満足そうに言います。たまたま触った白い砂が、日光に温められていることに気付いたのでしょう。発見の喜びを誰かに伝えたくなり、その子はその白い砂をかき集めた模様です。何やら期待に満ちた目で私をじっと見つめ、こう聞いてきます。「あったかい？」 うん、あったかい。

### 【マグマと雲梯】

数人が雲梯で遊んでいました。その雲梯の方から、「うわー」という声が届きます。悲鳴より歓声に近い声でしたが、何があったか、いちおう確認にいきました。すると、1年生の子が「マグマに落ちちゃったー！」とはしゃいでいます。その後にはすかさず「あのね、ここ、マグマだよ。」と、3年生が補足説明。指は地面を指しています。雲梯から手を放し落下するとマグマに飲み込まれる…どうやらそんな想定で遊んでいる模様です。その1年生は何度も挑戦し、何度もマグマに飲み込まれていました。そんな1年生に対し、3年生は「頑張れ～」とか言いながら、時に1年生を抱きかかえ、雲梯を渡り切らせようとしていました。

### 【木の枝の引っ張りっこ】

2年生の二人が向かい合い、何かを引っ張りっこしています。近くに寄ると、それは枯れて運動場に落ちた木の枝でした。二人はそれぞれに枝を拾い上げ、それを十字に組んで引っ張り合っていたのです。枝が折れたら負け、手を離れたら負けと、やりながらルールは変更されていましたが、それも遊びの内。二人は実に楽しそうでした。

砂や枯れ枝が遊び道具になり、地面がマグマに見立てられる…実は、こんな例はざらにあります。イチョウの葉を頭に載せて「はながっぱ」、どんぐりはその大きさによって「お母さん」になったり「赤ちゃん」になったり。草の根を石でこすりながら「火起こしだあ！」…等々。子どもの発想力や創造力にはまったく驚かされます。大人には何でもない物でも、子どもはそれをおもちゃにし、遊びにし、笑いや笑顔にしまいます。そういった意味で、子どもはまさに遊びの天才。逆の見方をすれば、その五感が刺激されるのか心が解放されるのか、遊びの中でこそ子どもは、その発想力や創造力をおおいに発揮し、伸ばしている気がします。

それにしても、学年の壁を越えて楽しく遊べることは川上小児童の良さのひとつだと、あらためて思われます。子どもたちは日々の遊びの中で、ルールを守ることや人を思いやること等、自然と多くの学びを得ています。

遊びは子どもにとっての素敵な教材。遊びもまた、大事な勉強です。

## 賛助会費をありがとうございます! 児童の学校生活に役立ってます。

地域の方から総額209,560円の賛助会費をいただきました。保育園83,824円(賛助会費の4割)、小学校125,736円(賛助会費の6割)と配当し、使わせていただきます。小学校は、児童用の机とイスを購入させていただく予定です。賛助会費にご協力くださった地域の皆様、誠にありがとうございました。また、取りまとめをしてくださった各地区担当の方々にも厚く御礼申し上げます。

### 9/30 稲刈り体験(4・5年生)



やさかファームの皆様のご指導の下、4・5年生が稲刈り体験をしました。最初に刈り方を教えていただいた後、鎌を片手に稲刈り開始。この日は澄み渡る青空、秋晴れの一日となりました。子どもたちは顔いっぱい汗をかき、赤ら顔でせっせと作業に取り組みました。川上の子が川上で、川上の大人たちと触れ合いながら川上の米を収穫する…子どもたちにとってのよりよい「ふるさと学習」でした。やさかファームの皆様、誠にありがとうございました。

### 10/11 第1回手話講座(1~3年生)



田口千穂子先生と小縣直美先生を講師にお招きし、1~3年生が「第1回手話講座」に取り組みました。1年生は、手話の基本として五十音の表し方を教わった後、「となりのトトロ」(歌)の手話での表し方を学びました。2・3年生は手話で自己紹介をした後、それぞれ「君をのせて」「翼をください」(歌)の表し方を学びました。子どもたちは、興味を示しながら楽しそうに学んでいました。田口先生と小縣先生の楽しく丁寧なご指導に感謝申し上げます。

### 10/14・15 修学旅行(6年生)



「近くで実感 楽しく学んで 思い出に残る修学旅行にしよう」をスローガンに、6年生が修学旅行に行ってきました。行き先は奈良と京都。奈良では法隆寺、東大寺、奈良公園を、京都では金閣寺、二条城、清水寺を訪れ、歴史ある建造物などを実際に見学しました。それら建造物について、子どもたちは社会の授業で事前に調べ学習を行っていたので、現地では順にガイドも務めました。実物を見ながら建造物の歴史やその価値について説明する中、日本の歴史についてより深く理解できたことと思います。

6年生の児童数は4人です。4人しかいないからこそ、それぞれが自分の係や役割に責任をもって取り組み、みんなで仲よく行ってこれました。また、同行してくださった運転手さんやガイドさん、宿泊先の方からもとても親切にいただきました。楽しくて学びの多い修学旅行でした。